平成２４年度予算要求に係る新規事業採択時評価

担　当　課：道路局　国道防災課
担当課長名：三浦　真紀

事業の概要

事業名	一般国道９号　湖陵･多伎道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県出雲市湖陵町三部 至：島根県出雲市多伎町久村			延長	４．５km

事業概要

湖陵･多伎道路は、山陰自動車道の一部を構成する出雲市湖陵町から出雲市多伎町に至る延長４．５ｋｍの自動車専用道路である。(山陰自動車道は、鳥取県鳥取市から山口県美祢市に至る延長約３８０ｋｍの高規格幹線道路であり、これまでに約１３４ｋｍが供用済み)

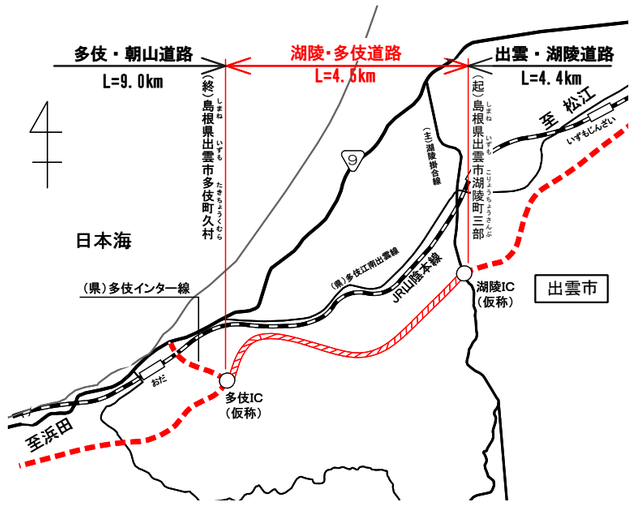
事業の目的、必要性

当該区間の整備により、出雲･大田地域における緊急輸送道路の確保、第３次医療施設への速達性向上、広域的な観光ルートの形成、島根県内の拠点都市へのアクセス性向上等が図られる。

全体事業費	約２００億円	計画交通量	約１６，７００台／日

事業概要図

位置図



関係する地方公共団体等の意見

【島根県知事】・予算化に同意
・残る未事業化区間についても早期に事業着手し、一日も早い山陰道の全線供用をお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。
・防災上のニーズや最新の技術を踏まえ、防災面で使いやすく、コストのかからない道路構造と運用を目指し、最大限の工夫に努めること。

事業採択の前提条件

費用対便益　：便益が費用を上回っている。
手続きの完了：都市計画決定の手続き完了（平成18年3月14日）

事業評価結果

費用対便益	B／C	２．２	総費用：１６０億円 事業費：149億円 維持管理費：11億円	総便益：３４９億円 走行時間短縮便益：277億円 走行費用減少便益：43億円 交通事故減少便益：30億円	基準年：平成23年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.9　（交通量　-10 %）	B/C=2.5　（交通量　+10 %）	
		事業費変動	B/C=2.0　（事業費　+10 %）	B/C=2.4　（事業費　-10 %）	
		事業期間変動	B/C=2.0　（事業期間 +20 %）	B/C=2.4　（事業期間 -20 %）	

事業の影響		評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	交通分散により観光シーズン時の渋滞緩和が見込まれる。 【渋滞長】約6,000m（現況：ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝｳｨｰｸ等）「出雲市多伎町」
		事故対策	○	交通分散により事故件数の減少が見込まれる。 【死傷事故率（H18～H21年の平均値】 約214.8件/億台キロ（現況）　（死傷事故率比「全国平均比」2.2（現況）） 全国平均　：約98.8件/億台キロ（約2.2倍）
		歩行空間	－	
	社会全体への影響	住民生活	◎	第３次医療施設（県立中央病院等）への速達性が向上 大田市役所～県立中央病院の所要時間：約50分→約39分（11分短縮） 大田市、美郷町における６０分圏域人口：約38.8千人→約41.0千人（2.2千人増加）
		地域経済	○	点在する観光地の連携が図られ、広域的な観光ルートの形成が見込まれる。
		災　害	◎	国道９号(現道)が災害等による通行止め時においても、緊急輸送道路が確保され道路の安全性や信頼性が向上
		環　境	－	
		地域社会	○	大田市から松江市（県庁所在地）への連絡時間が短縮し、地域間のアクセス向上が見込まれる。
事業実施環境			○	・平成18年3月14日付け、都市計画決定済み。 ・隣接する出雲･湖陵道路及び多伎･朝山道路等は事業中であり、一体的な整備が必要。

採択の理由

費用便益費が2.2と、便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続が完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、出雲･大田地域における緊急輸送道路の確保、第３次医療施設への速達性向上及び広域的な観光ルートの形成など地域経済活動に寄与する等、当該事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業を平成２４年度予算要求の新規事業箇所として要求する。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。